



SENDAI BOSAI TECH

自治体の “避難所運営のリアル”を知ろう!!

2022/09/27

兵庫県・神戸市

基本情報



所在地

兵庫県南部

人口

約151万人

特に対策の 必要な災害

地震、津波、大雨・洪水、土砂崩れ

市の特徴

- 政令指定都市。国内主要都市とアクセス良好
- 南部は瀬戸内海に面し市街地が広がり、北部は六甲山がそびえ農村が広がる。山と海が近接している。
- 夏は蒸し暑い。冬は温暖。年間雨量が少ない。
- 名所・名物は、有馬温泉、夜景、神戸ビーフ、旧居留地^{など}



避難所運営のプロセス

やること

課題

平常時 (準備)

- 避難所の運営は区役所職員とカウンターパートの本庁各課の応援職員が担当する。(避難所担当職員)
- 避難所担当職員は庁内での連絡体制と避難所開設運営マニュアルを確認する。

- 避難所開設運営マニュアルの周知。
- 実際に避難所開設に従事した経験のある職員が少なく、開設手順を確認するまでに時間を要する。
- 地域への避難施設の鍵渡しが進まない。

災害発生時

- 防災指令を受けた避難所担当職員が避難所(主に市内の小中学校)を開設。開設にあたり、適切な感染症防止対策を講じる。
- 休日夜間の場合に発生した災害時は、区役所職員と本庁応援職員が開設する。

- 休日夜間では学校職員や避難所担当職員が到着するまでに時間がかかる場合がある。(鍵が開いていない)
- 地域住民の協力を得る。
- 避難所担当職員は参集が必要な災害かどうか、自分で判断ができず、庁内の連絡を待つ場合がある。

避難者 受け入れ時

- 受付を設置し、避難者に対して避難者調査票への記入を案内し、体調確認を行う。
- 体調不良者は専用スペースに案内する。
- 避難者調査票をもとに避難者数を集計し、区役所へ報告。

- 受付時の避難者調査票への記入や体調確認等で、避難所内への誘導に時間を要する。
- 避難者数の集計が自動化されておらず、区役所への報告に時間を要する。
- ペット同行避難の体制が整備されていない。

避難者 滞在時

- 避難者の入所や退所を管理する。
- 物資支援に加え、避難者の体調を把握し、適宜、手助けが必要な方へのサポートも行う。

- 避難者の退所(一時退所含む)の管理が困難。
- 避難者が多い場合に、避難者ひとりひとりの体調の把握や適切なケアをすることが困難。
- 女性や障がい者、外国人への配慮が課題。

避難所運営の体制

神戸市では、区役所職員、施設の管理者や教職員、防災福祉コミュニティ等の地域団体が、平時からマニュアルの整備や訓練で顔の見える関係を築き、災害時は避難所の立上げや運営を行うなど、組織的に活動する体制としている。

避難所運営委員会	避難所担当職員	<ul style="list-style-type: none">区役所職員とカウンターパートの本庁各課の応援職員。市が避難情報を発令した場合や、市内で大きな地震が発生した場合に、各指定避難所を開設する。避難所運営の全般に携わるとともに、主に区災害対策本部との情報連絡を行い、避難所内の課題解決に向けて要請や調整を行う。
	施設管理者・職員	<ul style="list-style-type: none">避難所となる施設の管理者や職員（主に神戸市立小中学校の教職員）避難所内の居住スペースや共有スペースを設置する際に調整や助言を行うなど、施設の活用に関することを中心に運営の支援を行う。
	地域団体	<ul style="list-style-type: none">防災福祉コミュニティなど、避難所が設置される地域で組織されている団体地域の防災活動の中心的な担い手として、他の地域団体や区役所、施設管理者と連携しながら、避難所等の開設運営の全般にわたり、主要な役割を果たす。避難者担当職員がすぐに到着できない場合、保有する鍵による緊急避難場所の開錠の役割がある。
	避難者	<ul style="list-style-type: none">避難者は、避難所が設置されている地域の住民以外の方が避難される場合もある。可能な範囲で避難所運営の役割を分担し、協力する。

神戸市の課題

地域への避難所の鍵渡し

大規模災害時、市職員が避難所に到着するまで時間がかかる。

災害時、住民が速やかに避難所を開設できるよう、地域への避難所の鍵渡しを進めていく。

鍵渡しの実施状況

	全市	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
施設数	336	40	25	33	20	59	27	38	46	48
鍵渡し済	99	4	12	8	5	24	20	12	7	7
進捗状況	29%	10%	48%	24%	25%	41%	74%	32%	15%	15%

神戸市の課題

避難所運営に男女共同参画の視点を取り入れる

災害から受ける影響は女性と男性とで異なる。

生理用品や更衣室、授乳室など、女性のニーズに配慮することで、避難所を多くの人が安心して過ごせる環境にしていく。

2022年3月 避難所運営に関する市民アンケートを実施

アンケート結果

衛生面・防犯面のニーズが強い

災害時に必要な物資

- ・ ウェットティッシュ
- ・ 中身の見えないゴミ袋
- ・ おしりふき
- ・ 離乳食

避難所の運営体制

- ・ 避難所での男女別エリアの設置
- ・ 女性の運営メンバー配置
- ・ 親子スペースの設置
- ・ 男女別相談窓口の設置

神戸市の課題

ペット同行避難

ペットは家族の一員 ⇒ 被災者の心のケアにもなる

ペット同行避難の課題

- ・ 飼い主の「**自助**」が基本
⇒ しつけ、物資の備蓄などは**飼い主の責任**
- ・ **アレルギー**等によるペットへの拒否感のある者への対応
- ・ 避難施設内の人と動物のすみ分け
- ・ 避難施設にペットを受け入れる体制がない etc.

神戸市の今後の取り組み

飼い主の「自助」の啓発や
施設管理者がペット同行避難を受け入れ
やすくするためのルール作りをしていく



避難所の動物収容施設（郡山市）

今後取り組みたいこと

電気自動車（E V）を活用した外部給電

災害時給電サイクル

①協定に基づき配車



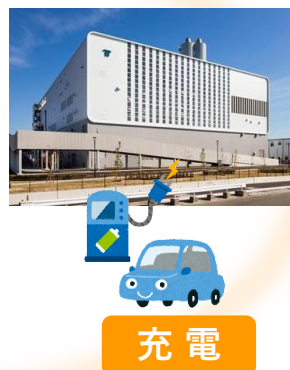
②避難所等で給電



③港島CCへ移動



④港島CCで充電



⑤避難所へ出発



外部給電・神戸モデル

すべての避難施設となる市立小中学校等に工事予定

